

## ヒトを研究するためのバイオバンクの現在—国内と海外の現状

**演題:** ヒトを研究するためのバイオバンクの現在—国内と海外の現状

**演者:** 増井 徹 博士 独立行政法人 医薬基盤研究所 生物資源研究部 部長

**日時:** 平成21年11月27日(金) 17:30 ~ 18:30 講演  
18:30 ~ 19:00 意見交換

**場所:** 東京女子医科大学 中央校舎 501 番教室

☆ セミナー親睦会 19:00 ~ 東京女子医科大学西病棟B 地下1階レストラン「コルネット」  
親睦会費 一般 1,000円、学生 500円



医学・健康の研究では、ヒトゲノムプロジェクトのような国際プロジェクトが進展する過程で、インターネットで医学・生物学研究に関する多くの情報が利用できるなど、研究のための道具立てが整備されてきています。しかし、今後更に、これらの利用に関して、個人情報保護や利用の制限などの様々な問題を検討し、研究倫理体制を整備し発展させることが望まれています。

独立行政法人医薬基盤研究所では、1985年に細胞バンク事業が設置され、培養細胞情報の構築・維持・管理について文部省研究費、科学技術庁、厚生省などのサポートを受けて、生命科学に貢献するべく細胞株を国内外の研究者に提供しています。増井先生は、早くから倫理面、個人情報の面に対応しているイギリスをはじめ、国内外のバイオバンクの経緯や研究上の展開、問題点などについて、調査研究をされてきました。特に、他国の制度との比較検討により、日本におけるバイオバンクの制度設計に関する提言されておられます。そこで、一般論と共に、IREIIMSの4000株についてもご意見ご指導を仰ぎたいと考えております。

岩志 和一郎・増井 徹 著 『講義生命科学と法』 尚学社, 2008年5月 ¥2625

水澤博共・小原有弘・増井徹 著『バイオ研究の舞台裏—細胞バンクと研究倫理』 裳華房 2007年11月 ¥1680

連絡先: 東京女子医科大学

国際統合医科学インスティテュート (IREIIMS)

事務局 ダイヤルイン (03) 5269-7425